

量子ナノ分光ユーザーグループ活動報告

構成メンバー（順不同）：尾嶋正治、組頭広志、岡林潤、大久保勇男（東大工）、藤森淳、溝川貴司、吉田鉄平（東大新領域）、柿崎明人、木下豊彦、奥田太一、原沢あゆみ（東大物性研）、小野寛太、久保田正人（KEK-PF）、宮原恒あき（東京都立大学）、辛埴（東大物性研）、吉信淳（東大物性研）、長谷川幸雄、江口豊明（東大物性研）、坂本一之（東北大理）、横谷尚睦（JASRI）、手塚泰久（弘前大学理）、相浦義弘（産総研）、小出常晴（KEK-PF）、高橋隆、佐藤宇史（東北大理）、小森文夫、中辻寛（東大物性研）、長谷川修司、松田巖（東大理）、廣瀬和之（宇宙研）、大門寛（奈良先端大）、H.-W Yeom（Yonsei大学）、谷口雅樹、小嗣真人（広大放射光センター）、臼田宏治（東芝総合研究開発センター）、田中厚志（富士通研）

高分解能光電子分光（HR-PES）、光電子顕微鏡（PEEM）によって、低次元構造（2次元電子ガス、1次元細線、0次元ドットなど）の金属、半導体、磁性体、超伝導体の電子状態を解析し、新しい低次元物性を解明する。本グループは、自己組織化結晶成長やナノテクノロジーを駆使した低次元構造の作製、およびその電子状態の解析に特徴があり、それらの量子ナノ構造の物性を放射光を用いたHRPESやPEEMで解明し、さらにユニークな構造作製にフィードバックする研究を行っているユーザーによって構成されているグループである。講演では、各グループの最近の成果をダイジェストで報告する。